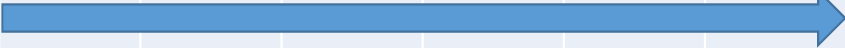




# 症状がない場合の療養期間終了の考え方

療養期間終了の条件：検体採取日の翌日から数えて**7日間**が経過している。

例	0日目 (検体採取日)	1日目	2日目	...	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	...	15日目	16日目	17日目
無症状の場合	35.4°C	36.2°C	35.8°C	...	36.8°C	36.2°C								
								<b>自宅療養終了</b>						
療養中に発症した場合	35.4°C	36.2°C	35.8°C	...	36.7°C	37.8°C	37.5°C	37.4°C	37.5°C	36.2°C	...	37.4°C	35.9°C	36.4°C
							<b>発症！</b> 							

無症状の方は、発症日の翌日から7日間療養後、8日目より外出可能です。

ただし、療養期間中に発症（**37.5度以上の発熱、咳嗽・鼻閉・鼻汁・咽頭痛・頭痛・倦怠感などの風邪症状、下痢などの消化器症状、味覚・嗅覚障害が出現**）した場合、発症日の翌日から改めて10日間が経過し、かつ、症状軽快後72時間が経過していることが確認されるまで自宅療養の期間が延長となります。

※発症後の自宅療養期間の考え方については、上図「症状がある場合の療養期間終了の考え方」をご参照ください。

※解熱剤の服用後の体温は、症状軽快の判断基準になりません。